

ポスター発表プログラム

前半 (P_{x-1-x}) : 13:30-14:20

後半 (P_{x-2-x}) : 15:00-15:50

P 1-1-1 ~ P 1-1-6

座長 葛巻 直子 (星薬科大学 薬理学教室)

- P1-1-1 脳内長鎖脂肪酸受容体 GPR40/FFA1シグナルは慢性疼痛の形成過程に関与する
○中本 賀寿夫¹、西中 崇¹、相澤 風花¹、山下 琢矢²、糟谷 史代²、徳山 尚吾¹
¹神戸学院大学・薬・臨床薬学、²神戸学院大・薬・毒性学
- P1-1-2 解熱鎮痛薬アセトアミノフェンのオピオイド受容体を介した新規薬理作用の解明
ーがん性疼痛コントロールの向上を目指してー
○宮野 加奈子¹、根本 悦子^{1,2}、佐藤 汐莉^{1,2}、川合田 恵美^{1,2}、松出 知子^{1,2}
大栗 宝子^{1,2}、藤井 秀明²、上園 保仁¹
¹国立がん研究センター研・がん患者病態生理、²北里大・薬学部・生命薬化学
- P1-1-3 恐怖条件付けストレス反応に対する抑肝散と選択的セロトニン再取り込み阻害薬
(SSRI) の併用効果
○大野 凜太郎、宮岸 寛子、齋藤 淳美、宮川 和也、辻 稔、武田 弘志
国際医療福祉大・薬・薬理
- P1-1-4 軽度ストレス刺激およびコルチコステロン投与がアルコール休薬後の認知機能低下
に及ぼす効果
○江田 香奈美、山田 朋美、嘉村 亮祐、沖田 英慎、江田 沙那恵、
和賀 彩可、加藤 英明
国際医療福祉大・薬・中毒学
- P1-1-5 Neuro2a 細胞における SNAP25 の細胞生存に及ぼす影響
○山本 彩佳、大井 ありさ、根本 佳奈、高木 正史、高橋 詩織、中谷 善彦、
天野 託
国際医療福祉大・薬・薬治

- P1-1-6 抗うつ薬はラットアストログリア細胞においてマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) を介してグリア細胞株由来神経栄養因子(GDNF) mRNA 発現を増加させる
○安部 裕美^{1,2}、中島 一恵¹、梶谷 直人²、岡田 麻美²、板垣 圭^{2,3}、
森岡 徳光¹、竹林 実^{2,3}、仲田 義啓¹
¹広島大学大学院・医歯薬保健学研究科・薬効解析科学、
²国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター・臨床研究部・精神神経科学、
³国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター・精神科

P 1-2-1 ～ P 1-2-6

座長 葛巻 直子 (星薬科大学 薬理学教室)

- P1-2-1 脳腸相関における分界条床核の役割
○井手 聡一郎^{1,2}、山本 隆太¹、鈴木 発知¹、武田 宏司³、南 雅文¹
¹北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室、²東京都医学総合研究所薬物依存プロジェクト、³北海道大学 大学院薬学研究院 臨床病態解析学研究室
- P1-2-2 神経変性疾患治療薬としての β_3 受容体作用薬の有用性
○吉岡 靖啓、根来 亮介、門居 久嗣、山室 晶子、石丸 侑希、前田 定秋
摂南大・薬・薬物治療学
- P1-2-3 脳内サイトカイン産生に対する L-dopa の抑制作用
○杉野 佑太、吉岡 靖啓、山下 和純、田村 茉奈美、山室 晶子、石丸 侑希、
前田 定秋
摂南大・薬・薬物治療
- P1-2-4 視索前野におけるインスリン様成長因子-1の体温調節への関与
○稲掛 綾香、岩田 怜奈、松原 つばさ、津嶋 宏美
金城学院大・薬・薬理
- P1-2-5 MPTP 誘発パーキンソン病様症状に対する 1-MeTIQ 誘導体の抑制作用
— 三炭素官能基の付加による変化 —
○石川 里沙¹、阿部 賢志¹、齋藤 俊昭²、神戸 敏江³、堀口 よし江³、
野島 浩史¹、田口 恭治³
¹奥羽大・薬、²日本薬大、³昭和薬大
- P1-2-6 危険ドラッグによる自動車事故例で検出された薬理成分と急性中毒症状
○金子 周司
京都大・薬・生体機能解析

P2-1-1 ~ P2-1-7

座長 宮川 和也 (国際医療福祉大学 薬学部 薬理学分野)

- P2-1-1 隔離飼育ストレスによる幻覚様行動の増悪に対する抑肝散の改善作用:5-HT_{2A}受容体減少作用と各構成生薬の役割
○植木 俊之、溝口 和臣、山口 琢児、西 明紀、関口 協二、五十嵐 康、服部 智久、加瀬 義夫
株式会社ツムラ・製品戦略本部・ツムラ研究所
- P2-1-2 隔離飼育マウスにおける ADHD 様行動の発現とそれに対する漢方薬・抑肝散の効果の検討
○韓 垚羽¹、藤原 博典¹、岡田 亮¹、Awale Suresh¹、荒木 良太²、矢部 武士²、松本 欣三¹
¹富山大・和漢医薬学総合研究所、²摂南大・薬・複合薬物解析
- P2-1-3 抑肝散の CREB を介した神経栄養因子様作用の解析
○窪田 香織^{1,2}、橋本 佳菜¹、福地 紀美子¹、中川 廣輝¹、桂林 秀太郎¹、江頭 伸昭³、岩崎 克典^{1,2}
¹福岡大・薬・臨床疾患薬理学、²福岡大・加齢脳科学研究所、³九州大学病院薬剤部
- P2-1-4 酸棗仁湯の睡眠障害および空間記憶障害に対する改善作用
○森山 博史¹、窪田 香織¹、長尾 昌紀¹、百武 裕香¹、吉田 詩織¹、久保田 直樹¹、江頭 伸昭²、桂林 秀太郎¹、岩崎 克典¹
¹福岡大学・薬・薬理、²九州大学・薬剤部
- P2-1-5 Glycogen synthase kinase-3 β を介したドネペジルの保護作用機序
○高鳥 悠記¹、牧谷 洗希²、南 奈央子²、河本 啓²、泉 安彦²、赤池 昭紀^{2,3}、久米 利明²、土田 勝晴¹
¹同志社女大薬・創薬理論科学、²京大院薬・薬品作用解析学、³名大院創薬・細胞薬効解析学
- P2-1-6 オピオイド δ 受容体はマウス内側前頭前野前辺縁皮質領域において神経活動依存的にグルタミン酸神経系を調節する
○早田 暁伸^{1,2}、斎藤 顕宜¹、鈴木 聡^{1,2}、山田 美佐¹、岡 淳一郎²、山田 光彦¹
¹国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部、²東京理科大学 薬学部 薬理学研究室

P2-1-7 海馬歯状回神経細胞障害後の無気力症候の出現
—無気力症候群モデル動物の可能性—
○吉田 麗奈、山口 太郎、大西 一字、大山 直樹、稲本 穂菜美、
氏原 明日香、米山 雅紀、荻田 喜代一
摂南大・薬・薬理

P 2-2-1 ～ P 2-2-6

座長 宮川 和也 (国際医療福祉大学 薬学部 薬理学分野)

P2-2-1 D₂L 受容体欠損マウスの前頭前皮質におけるセロトニン放出亢進とストレス脆弱性
○杉本 航、塩田 倫史、福永 浩司
東北大学大学院・薬・薬理

P2-2-2 FABP3 欠損マウスの PTSD 様行動と扁桃体機能異常との関連
○高畑 伊吹、矢吹 悌、福永 浩司
東北大学大学院・薬・薬理

P2-2-3 事前経験による恐怖反応および恐怖記憶の促進
○岩寄 諭嗣、坂口 哲也、池谷 裕二
東京大・院薬・薬品作用

P2-2-4 自閉スペクトラム症における小胞体ストレスを介した神経成熟異常
○家雲 高哲¹、川田 浩一¹、三森 盛亮²、野村 靖幸³、大熊 康修¹
¹千葉科学大・薬・薬理、²千葉科学大学薬学部臨床医学、³久留米大学医学部薬理学

P2-2-5 Ethanol ならびに methamphetamine 誘発逆耐性形成における mTOR の関与
○芝崎 真裕¹、古谷 絵菜里¹、菊田 奨之¹、成田 道子¹、河田 美穂¹、
葛巻 直子¹、成田 年^{1,2}
¹星薬大・薬理、²先端生命科学研究センター (L-STAR)

P2-2-6 マウス前頭葉前皮質における Piccolo の発現低下による神経機能障害
○新田 淳美¹、稲垣 良¹、佐藤 慶治¹、松村 慎一²、鷺見 和之¹、
鍋島 俊隆³、宇野 恭介¹、宮本 嘉明¹
¹富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)・薬物治療学研究室、
²自治医科大学・内科学講座・神経内科学部門、³名城大学・薬学部・鍋島研究室

P3-1-1 ~ P3-1-6

座長 角南 明彦 (国際医療福祉大学 薬学部 分子薬理学分野)

- P3-1-1 急性心筋梗塞ラットへの Sca-1 陽性心筋幹・前駆細胞移植の効果
○丸ノ内 徹郎、矢野 絵美、田野中 浩一
東京薬大・薬・病態薬理
- P3-1-2 ジスチグミン臭化物による長時間持続性膀胱運動増強効果の機序に関する検討
ーリコンビナントヒトアセチルコリンエステラーゼに対する効果についてー
○小原 圭将、茅野 大介、田中 芳夫
東邦大・薬・薬理
- P3-1-3 高密度多電極アレー解析による網膜神経節細胞サブタイプ特異的な機能変化
○小坂田 文隆^{1,2,3,4}、E. J. Chichilnisky⁴
¹名大・創薬・細胞薬効解析、²名大・高等研・神経情報処理、³JST・さきがけ、
⁴ソーク・システムズニューロバイオロジー
- P3-1-4 アペリンのNMDA誘発網膜神経節細胞死に対するTNF- α 発現抑制を介した保護作用
○石丸 侑希、森田 匠、住野 彰英、岩田 侑子、山本 祐基、山室 晶子、
吉岡 靖啓、前田 定秋
摂南大・薬・薬物治療
- P3-1-5 プロスタノイド受容体を介した血管平滑筋及び気管平滑筋の収縮反応に対するドコ
サヘキサエン酸 (DHA) の抑制効果
○茅野 大介、小原 圭将、田中 芳夫
東邦大・薬・薬理
- P3-1-6 ラット摘出灌流心臓における防已の冠血管拡張作用
○原 明義、横田 夢見子、星 千裕、前田 翔太、石橋 楽至、作元 仁志、
矢作 忠弘、榊原 巖
国際医療福祉大・薬・臨床薬理

P3-2-1 ~ P3-2-7

座長 角南 明彦 (国際医療福祉大学 薬学部 分子薬理学分野)

- P3-2-1 ヒトカリウムチャネル遺伝子導入によるヒト iPS 細胞由来心筋細胞の成熟化のメカニズム—発現レベルからの考察—
○児玉 昌美¹、李 敏¹、芦原 貴司²、諫田 泰成³、関野 祐子³、古川 哲史¹、黒川 洵子¹
¹東医歯大・難治研、²滋賀医大・循環器内科、³国衛研・薬理部
- P3-2-2 再分極電流の違いで生じるマウス心室筋のアドレナリン α 受容体刺激応答の発達変化
○瀨口 正悟、守能 生恵、行方 衣由紀、田中 光
東邦大・薬・薬物
- P3-2-3 包括的心筋細胞モデルに基づくヒト胚性幹細胞由来心筋細胞のシミュレーション
○松尾 采佳、田中 雄一郎、佐野 ひとみ、岩宮 貴紘、富田 勝
慶大・環境情報
- P3-2-4 胎生期の心室筋細胞において興奮収縮連関を司る要素の変化に関するコンピュータシミュレーション
○脇田 舞子、佐野 ひとみ、内藤 泰宏、富田 勝
慶大・環境情報
- P3-2-5 胎児期・成体の心室筋細胞における収縮機構のモデリングとシミュレーション
○瀧口 真央¹、佐野 ひとみ²、内藤 泰宏^{1,2}、富田 勝^{1,2}
¹慶應義塾大学政策・メディア研究科、²慶應義塾大学環境情報学部
- P3-2-6 ペーシング可能なヒト iPS 細胞由来心筋高密度培養標本を用いたドキシソルビシンの作用解析
○林 英里奈¹、福田 俊¹、児玉 昌美¹、安東 朋子¹、木村 麗子¹、中井 雄治²、永森 収志³、金井 好克³、古川 哲史¹、黒川 洵子¹
¹東京医歯大・難治研、²弘前大・食料研、³大阪大・院・医
- P3-2-7 ラットを用いた経食道頻回刺激による心房細動の誘発性における加齢の影響と心房に局在するカリウムチャネルの関与
○三山 紗衣子、小島 由紀子、柴田 悠樹、伊藤 公一、桑原 正貴
東京大学・農・獣医

P4-1-1 ~ P4-1-6

座長 関口 富美子 (近畿大学 薬学部 病態薬理学研究室)

- P4-1-1 ワサビ辛味成分アリルイソチオシアネート誘起胃運動減弱マウスモデルにおける消化管運動改善薬の胃運動促進作用
○押 範之、田嶋 公人、今井 拓、橋本 和樹、堀江 俊治
城西国際大・薬・薬理
- P4-1-2 麻酔下ラットにおけるワサビ辛味成分アリルイソチオシアネートによる胃粘膜微小炎症の惹起—TRPA1 チャンネルおよび一酸化窒素の関与—
○山浦 しずき、田嶋 公人、渡邊 裕斗、高野 翔太、堀江 俊治
城西国際大・薬・薬理
- P4-1-3 覚醒下マウスにおける基礎および刺激酸分泌反応に対するヒスタミンH₂受容体拮抗薬ラフチジンの効果—メラトニンの関与—
○新村 糧、田嶋 公人、小松 徹、加藤 祐、堀江 俊治
城西国際大・薬・薬理
- P4-1-4 血管内皮細胞に発現する TRPV4 チャンネルはマウスデキストラン硫酸誘発大腸炎の進行に関与する
○本吉 葵、山羽 里歩、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一
京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
- P4-1-5 マクロファージおよび大腸上皮における柴苓湯のサイトカイン発現抑制の機序
○岡部 有紀子¹、後藤 起江¹、諸頭 温奈¹、松本 健次郎¹、天ヶ瀬 紀久子¹、林 周作²、門脇 真²、加藤 伸一¹
¹京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野、
²富山大学和漢医薬学総合研究所 病態制御部門 消化管生理学分野
- P4-1-6 プロバイオティクスの 5-フルオロウラシル誘起性腸炎における有用性
○荒川 真萌、富永 藍、小田垣 真衣、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一
京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野

P4-2-1 ~ P4-2-7

座長 原 明義 (国際医療福祉大学 薬学部 臨床薬理学分野)

- P4-2-1 脳内出血病態形成過程における5-リポキシゲナーゼ系の関与
○ 脇岡 雅宣¹、阿南 純平¹、石橋 勇人¹、倉内 祐樹¹、久恒 昭哲^{2,3}、
関 貴弘¹、香月 博志¹
¹熊本大院・生命・薬物活性、²熊本大院・先端機構、
³熊本大・リーディング大学院HIGOプログラム
- P4-2-2 脳梗塞における神経障害と血管障害を抑制するプロサイモシン α 由来低分子ペプチドの創薬研究
○ 前田 詩織、佐々木 恵太、Sebok Kumar Halder、植田 弘師
長崎大院・医歯薬・創薬薬理
- P4-2-3 心肥大時に生じる死細胞はMFG-E8を介して除去される
○ 松田 翔一、小宮 詩織、仲矢 道雄、長坂 明臣、黒瀬 等
九州大学・薬・薬効安全性学
- P4-2-4 抗不整脈薬フレカイニドの電位依存性Naチャンネル抑制作用 - アイソフォーム選択性と結合部位に関する研究 -
○ 中川 博揮、熊田 悦子、渡邊 元太、角南 明彦
国際医療福祉大・薬・分子薬理
- P4-2-5 薬物性不整脈を検出する急性房室ブロックウサギの有用性：抗精神病薬による催不整脈作用の検出と薬物性不整脈の機序解析
○ 萩原 美帆子、神林 隆一、仲條 美佐子、高原 章
東邦大・薬・薬物治療
- P4-2-6 β -アドレナリン受容体 (β -ADR) を介したラット大動脈標本の弛緩反応にNO-cGMP経路が関与する可能性の検討
○ 椎名 俊介、宇井 梨花子、遠藤 知花、小原 圭将、茅野 大介、田中 芳夫
東邦大・薬・薬理
- P4-2-7 ジャンクトフィリン2の血管平滑筋Ca²⁺マイクロドメイン形成への関与と大コンダクタンスCa²⁺活性化K⁺チャンネルに対する分子修飾の解明
○ 佐伯 尚紀¹、鈴木 良明¹、山村 寿男¹、竹島 浩²、今泉 祐治¹
¹名古屋市立大学大学院 薬学研究科 細胞分子薬効解析学分野、
²京都大学大学院 薬学研究科 生体分子認識学分野

P5-1-1 ~ P5-1-7

座長 今井 哲司 (京都大学 医学部附属病院 薬剤部)

- P5-1-1 モルモット膀胱標本の収縮反応と運動機能に与える各種抗うつ薬の抗コリン作用を介した抑制効果の検討
○宇野 準二、鈴木 寛子、宮谷 理美、小原 圭将、茅野 大介、田中 芳夫
東邦大・薬・薬理
- P5-1-2 転写制御因子 ATF3 の軟骨組織における機能的役割
○尾崎 翔¹、家崎 高志¹、米田 幸雄¹、金田 勝幸¹、北島 繁孝²、
檜井 栄一¹
¹金沢大学医薬保健研究域薬学系・薬物学、
²東京医科歯科大学難治疾患研究所・遺伝生化学分野
- P5-1-3 4-hydroxynonenal による難聴モデル動物の開発
○土屋 侑子、米山 雅紀、山口 太郎、荻田 喜代一
摂南大・薬・薬理
- P5-1-4 緑内障モデルマウスにおける網膜神経細胞死に対する apelin の Akt および ERK の活性化を介した保護作用
○住野 彰英、石丸 侑希、柴垣 郁弥、山室 晶子、吉岡 靖啓、前田 定秋
摂南大・薬・薬物治療
- P5-1-5 鉄キレート薬 deferasirox は *PDE6a* に変異を持つ網膜色変性症 モデルマウスにおける視細胞死の進行を遅延させる
○曾根 康平、小川 舞、林 はるか、堀 友葉、高梨 愛、牛久保 裕子、
森 麻美、中原 努、坂本 謙司、石井 邦雄
北里大・薬・分子薬理
- P5-1-6 新規アトピー性掻痒モデルの開発に関する研究：ドライスキンを発症したマウスにおけるダニ粗抽出物反復暴露による掻痒様行動の増悪
○橋本 みさき、藤井 正徳、橋本 崇史、大塚 悠伽、高見 章帆、
松井 利江子、松本 芳樹、山田 由芽香、桑原 渉、大矢 進
京都薬大・薬理
- P5-1-7 VEGF 受容体阻害薬を用いた未熟児網膜症モデルラットの作製
○中野 歩希、中原 努、牛久保 裕子、森 麻美、坂本 謙司、石井 邦雄
北里大・薬・分子薬理

P5-2-1 ~ P5-2-5

座長 今井 哲司 (京都大学 医学部附属病院 薬剤部)

- P5-2-1 ラット第5腰神経切断により誘起される神経障害性疼痛および脊髄後根神経節における $Ca_v3.2$ T型 Ca^{2+} チャンネル発現増加への転写調節因子 Egr-1 と脱ユビキチン化酵素 USP5 の関与
○富田 詩織、関口 富美子、坪田 真帆、川畑 篤史
近畿大・薬・病態薬理
- P5-2-2 新規 T 型カルシウムチャンネル阻害薬 sophoraf flavanone G および 6-prenylnar ingenin の電気生理学的性質と痛覚過敏抑制効果
○大野 堇¹、市井 真貴¹、山岡 桜¹、関口 富美子¹、藤田 友代¹、
出口 貴浩²、坪田 真帆¹、西川 裕之¹、吉田 繁³、村田 和也²、松田 秀秋²、
豊岡 尚樹⁴、大久保 つや子⁵、川畑 篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・薬用資源、³近畿大・理工・生命科学、
⁴富山大・工・生命工学・生体機能性分子工学、⁵福岡歯科大・細胞分子生物
- P5-2-3 光遺伝学的手法ならびに化学遺伝学的手法を用いた人工的知覚神経活性制御による痛覚閾値変動
○近藤 貴茂¹、渡邊 萌¹、須原 佑樹¹、成田 道子¹、葛巻 直子¹、
山中 章弘²、成田 年^{1,3}
¹星薬大・薬理、²名古屋大・環医研・神経 2、
³先端生命化学研究センター(L-StaR)
- P5-2-4 乳酸による痛覚過敏発現に関与する細胞内情報伝達系の解析
○宮本 啓補¹、石倉 啓一郎¹、飯尾 彩加²、糸 和彦²、大澤 匡弘²
¹名市大・薬・神経薬理、²名市大院・薬・神経薬理
- P5-2-5 有痛性糖尿病性神経障害における脊髄アンジオテンシン II の関与
○小潟 佳輝¹、根本 互¹、中川西 修¹、八百板 富紀枝¹、只野 武²、
丹野 孝一¹
¹東北薬科大学・薬理学、²金沢大学・ヘルスケア医学研究室

P6-1-1 ~ P6-1-4

座長 大澤 匡弘 (名古屋市立大学 大学院 薬学研究科 神経薬理学分野)

- P6-1-1 SH-SY5Y 神経芽腫細胞におけるグルタチオン合成系に対するインスリン及び IGF-I の効果とそのメカニズムの解析
○高橋 周平¹、倉内 祐樹¹、久恒 昭哲^{2,3}、関 貴弘¹、香月 博志¹
¹熊本大院・生命科学・薬物活性、²熊本大院先端機構、
³熊本大リーディング大学院 HIGO プログラム
- P6-1-2 1 型糖尿病モデルラット網膜における神経と血管の傷害過程
○神谷 恵里佳、中原 努、岡田 良介、牛久保 裕子、森 麻美、坂本 謙司、石井 邦雄
北里大・薬・分子薬理
- P6-1-3 ddY 系マウスを用いたメチオニン低減・コリン欠乏超高脂肪食誘発非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) モデルマウスの作製
○小畑 友紀雄¹、中本 賀寿夫¹、原田 慎一¹、森本 泰子²、金 啓二³、金 守良⁴、徳山 尚吾¹
¹神戸学院大薬・臨床薬学、²神戸学院大薬・健康支援、³神戸朝日病院・薬剤部、⁴神戸朝日病院・消化器科、
- P6-1-4 SERM 様化合物 MU314 の骨量減少に対する作用の検討～さらなる有用性の検討～
○出雲 信夫¹、福山 亮²、辻 真貴¹、速水 耕介¹、中野 真¹、藤田 貢²、渡邊 泰雄¹
¹横浜薬大・総合健康メディカル、²広島国際大・薬・薬効解析

P6-2-1 ~ P6-2-5

座長 大澤 匡弘 (名古屋市立大学 大学院 薬学研究科 神経薬理学分野)

- P6-2-1 骨転移腫瘍におけるセマフォリンの発現制御機構
○山田 大祐、川原 浩一、前田 武彦
新潟薬大・薬学部・薬効薬理学研究室
- P6-2-2 神経芽腫に対する MYCN 遺伝子を標的とした新規 DNA アルキル化剤の開発
○養田 裕行^{1,2}、高取 敦志¹、井上 貴博^{1,2}、渡部 隆義¹、越川 信子¹、尾崎 俊文³、永瀬 浩喜¹
¹千葉県がんセンター研究所・がん遺伝創薬研究室、²千葉大学大学院・医学薬学府・分子腫瘍生物学、³千葉県がんセンター研究所・DNA 損傷シグナル研究室

- P6-2-3 自殺遺伝子を導入した iPS 細胞由来神経幹細胞を用いた悪性グリオーマに対する遺伝子細胞治療
○岩澤 千鶴¹、三好 浩之³、鈴木 裕基¹、井下田 裕也¹、葛巻 直子^{1,3}、戸田 正博⁴、岡野 栄之^{2,3}、成田 年^{1,2}
¹星薬科大学薬理学教室、²先端生命科学研究センター (L-StaR)、³慶應義塾大学医学部生理学教室、⁴慶応義塾大学医学部脳神経外科
- P6-2-4 シスプラチン誘発食欲不振に対する EPA および BCAA の有用性に関する検討
○手塚 栞¹、田代 真弓¹、吉澤 一巳¹、山田 岳史²、高橋 吾郎²、内田 英二²
¹東京理科大・薬・疾患薬理学、²日本医科大・消化器外科
- P6-2-5 抗悪性腫瘍薬の開発を指向した新規ベンズインドール誘導体の抗グリオーマ作用の検討
○渡邊 有加里¹、高橋 詩織¹、Nyo Mi SWE²、中谷 善彦¹、渡邊 敏子²、天野 託¹
¹国際医療福祉大・薬・薬治、²国際医療福祉大・薬・創薬有機